

令和 2 年度学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	13		学 校 名		茨城県立太田西山高等学校				課 程		全日制		学校長名		鈴 木 好 美			
教 頭 名	藤 和博								事務長名		椎 名 実							
教職員数	教 諭	29	養 護 教 諭	1	常 勤 講 師	1	非常勤 講 師	5	実習教諭, 実習 講師, 実習助手	1	事 務 員	0	技術職 員 等	0	計	37		
生 徒 数	小学科	1 年		2 年		3 年		4 年		合 計		合計クラス数						
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女							
	普通科	81	94	111	115							192	209	11				

2 目指す学校像

1 人間力を高め、将来の夢を実現する学校
2 知・徳・体の調和のとれた、心身ともに健全な人格の完成を目指す学校
3 自ら学び続ける力の育成を目指す学校
4 地域に愛され、信頼される学校

3 現状分析と課題（数量的な分析を含む。）

項 目	現 状 分 析	課 題
学習指導	・ 49%の生徒が計画的に学習をし、授業に前向きな態度で取り組んでいるものの、51%の生徒は不十分であると感じている。 ・ 72%の生徒が、教科指導に関して様々な工夫がなされていると感じており80%の生徒が授業はわかりやすいと考えている。	・ 家庭での学習時間を確保するために工夫をするとともに、生徒の学習意欲を喚起するための授業改善が必要である。 ・ 基礎学力の定着から応用力の育成を図るために、I C Tを効果的に活用するなど、わかりやすい授業を展開する必要がある。
進路指導	・ 63%の保護者は、本校の進路指導が充実していると感じており、63%の生徒は、将来の進路に関しての面談・面接が十分に行われていると感じている。 ・ 3年間の一貫した進路指導の体系を構築する必要がある。	・ 個別指導の充実を図り、一人一人に応じたきめ細やかな進路指導を展開する必要がある。 ・ 3年間を見据えた進路指導を計画的に実施し、将来の目標と学習意欲を喚起させる取組が必要である。
生徒指導	・ 地域住民は、本校生のマナーや挨拶について40%近くの人があまりよくできてはいないと感じている。 ・ 生徒指導はほとんどない状況ではあるが、個別の指導・支援が必要な生徒が見られる。	・ 基本的生活習慣のさらなる確立を図るため、全職員の共通理解のもとに指導を継続する必要がある。 ・ 生徒理解のための個別面談を充実させ、生徒の心に寄り添う指導体制の確立が必要である。 ・ 学年や生徒指導部による組織的対応と指導により時間外指導の負担軽減を推進する。
特別活動	・ 69%の生徒が、学校行事、生徒会活動が充実していると感じている。 ・ 陸上競技部、野球部、サッカー部、自然科学部が県大会等に出場し活躍している。	・ 生徒を学校生活に主体的に取り組ませ、体験活動を充実させるために、キャリアパスポート等を活用し、連携の取れた指導体制の確立が必要である。 ・ 部活動については、長時間の指導とならないように効率的な実施に努める。

4 中期的目標

1	3年間を通してライフスキルの向上を目指す取組みを実施するとともに生徒の実態に即した指導に努め、生徒の多様な進路希望の実現に努める。
2	生徒が充実した学校生活を送ることができるように、生徒会活動などの特別活動や部活動の充実を努める。
3	学習意欲の喚起に努め、基礎学力の定着から応用力の育成をするためにアクティブ・ラーニング、ICTを活用した授業の推進に努める。
4	ボランティア活動の充実を図るとともに地域との連携を目指した取組を推進して、地域に貢献できる生徒の育成に努める。
5	働き方改革を推進する中で、適正な時間管理のもと、超過勤務を防ぐ取組を行う。超過勤務時間が前年比で10%削減できるように努める。

5 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
1 基礎学力の向上と学習意欲の喚起	・生徒の実態に即した授業の展開を通して、基礎学力の向上と学習意欲の喚起に努める。 ①アクティブ・ラーニング、ICTの活用からの授業改善 ②学習意欲を引き出す指導力の向上 ③コミュニケーション能力育成のための言語活動の充実 ④学習時間の確保と家庭学習の定着 ⑤基礎学力の定着から応用力の育成
2 生徒一人一人に適した進路の実現	・ライフスキルの育成を通して、個に応じたきめ細かな進路指導を充実するとともに、生涯にわたって充実した生活が送れるよう、生徒一人一人に適した進路の実現に努める。 ①ライフスキルの育成を中心とするキャリア教育の充実 ②面談による個別指導の徹底 ③自己理解を深めさせる指導の重視 ④インターンシップやオープンキャンパスを活用した指導の充実 ⑤進学及び就職等、将来の進路先の開拓と充実
3 基本的生活習慣の確立と規範意識の向上	・ライフスキルの育成を通して、基本的生活習慣の確立を図るとともに自主的・自律的な態度の育成に努める。また、特別活動の充実を通して、学校生活の活性化を図るとともに、集団の一員としての自覚と責任に基づく規範意識の高揚に努める。 ①基本的生活習慣の確立 ②HR活動、学校行事、生徒会活動の活性化 ③部活動の加入率の向上と継続的な活動への支援 ④道徳教育による規範意識の育成 ⑤教育相談の充実
4 地域、保護者との交流・連携による教育活動の充実	・地域の歴史を学び、地域における特色ある体験や地域の教育力を活かした活動を通して、教育活動を充実させるとともに、信頼され期待される学校づくりを目指し、本校の教育活動に対して地域、保護者の理解が得られるように努める。 ①保護者との緊密な連絡と連携 ②中学校訪問や説明会及びHP等による情報の収集と発信 ③地域社会の理解を目指した取組の推進 ④学校が担うべき業務を明確化し、外部への委託の推進